

みんなで乗り越えよう! 新型コロナウイルス

～コロナ禍で生まれたさまざまな取組～

一日も早い収束に向け、私たちが一丸となって取り組んでいる、新型コロナウイルス対策。明るい未来のために、私たちが今できることは何か、一人ひとりが日々模索しながら過ごしています。そんな中、今だからこそ生まれた明るい話題や元気が出る取組を紹介します。

区内の飲食店 × 区民の皆さん

新型コロナウイルス感染症の拡大により、飲食店を訪れるお客さんは減少しています。

あなたが小さい頃から通っている馴染み深いあの店も、最近通い始めたお気に入りのあの店も。今守ることができるのは、“あなた”です。

コロナに負けず、みんなで区内のお店を応援しましょう。「#住吉エール飯」にぜひご参加ください!



#住吉エール飯

参加方法

住吉区の飲食店で食事やデリバリー、テイクアウトする

料理の写真を撮影する

「#住吉エール飯」をつけてSNSに投稿する

学ぶ楽しむ × 動画

● 新型コロナウイルス感染症対策

住吉区住みます芸人「ダブルヒガシ」が、感染症対策のポイントについて動画で紹介。笑いながら学べます。ぜひご覧ください!



● すみよしすごろく

「ダブルヒガシ」が住みます芸人として、これまで足を運んだ所や参加したイベントなどを題材に作成。住吉区に関する情報が満載です。楽しく遊びながら、住吉区の魅力を感じてください。



マスク × つながる協力の輪

みんなが使ってくれて嬉しかったです!

南住吉小学校6年生の有志が、使い捨てマスクを約600枚作り、学校へ寄付しました。

学校では、マスクを忘れた児童やマスクが汚れた児童のために、有効活用されています。



左から、稲垣賢太郎さん、永田麗奈さん、上野美紅さん、駒木未羽さん、水野由梨さん



問合せ 政策推進課 3階 35 番窓口 ☎6694-9842 FAX 6692-5535

歴史コラム

すみよし歴史散歩

住吉区の歴史や魅力を皆さんに再発見していただくためのコーナーです。

長居の歴史

長居は、古くは大阪湾に近い入り江の風光明媚な場所でした。鎌倉時代頃に詠まれた歌に、『長居、長井、長為』という名が出ており、その頃からすでに『ながい』と呼ばれていたことがわかります。

江戸時代には長居地域は、摂津国住吉郡『寺岡村、堀村、前堀村』の3つの村に分かれており、城や砦のまわりに水路をめぐらせた環濠集落となっていました。旧寺岡村の神須牟地神社、旧堀村の保利神社周辺は現在も入り組んだ路地が当時を偲ばせています。

これらの3つの村は明治になって依羅村に統合されましたが、1894年(明治27)分離して『長居村』となりました。その後、1925年(大正14)に大阪市に編入され



大正12年発行 大日本帝国陸地測量部 1万分の1地形図 「住吉」鉄道道路加筆

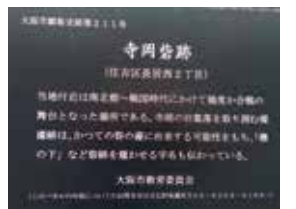
『住吉区西長居町、東長居町、南長居町』となり今日の『長居』に至っています。

また長居は大坂夏の陣以降、戦火を逃れた武者が手慰みに始めたといわれる花の栽培が有名で、最盛期の正徳年間には200戸余りの農家が『寺岡の仏花』として近郊の寺院等に花を納めていました。

戦後は急速に住宅地化が進み、現在敷地が東住吉区に所属する長居公園の整備と共に新しい町と古い町が混在する魅力ある街並みとなっています。



神須牟地神社東側の環濠跡



真光寺前の寺岡砦説明パネル

まきの のりあき
執筆 NPO法人すみよし歴史案内人の会 牧野 憲詳

すみよし歴史案内人の会では、住吉の歴史や魅力を伝えるまち歩きツアーなどを開催しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

すみよし歴史案内

検索

